

## 県内景況は、厳しさを増す

増税後の反動減、台風等自然災害の影響あり

～景況DI値前月比28.9ポイント低下、前年同月比36.8ポイント低下～

\*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

### 1. 10月鳥取県内の中小企業景況

**売上（受注）高** 製造業では、DI値前月比で10.5ポイント低下、前年同月比でも36.8ポイント低下。非製造業では、前月比で15.7ポイント低下、前年同月比でも15.8ポイント低下。

**在庫数量** 製造業では、DI値前月比で21.1ポイント低下、前年同月比でも26.3ポイント低下。非製造業では、前月比で同水準、前年同月比で16.7ポイント低下。

**販売（受注）価格** 製造業では、DI値前月比、前年同月比ともに10.5ポイント低下。非製造業では、DI値前月比、前年同月比ともに5.3ポイント低下。

**取引条件** 製造業では、DI値前月比、前年同月比ともに10.5ポイント低下。非製造業では、前月比、前年同月比ともに同水準。

**収益状況** 製造業では、DI値前月比で26.3ポイント低下、前年同月比でも42.1ポイント低下。非製造業では、前月比で10.5ポイント低下、前年同月比でも15.7ポイント低下。

**資金繰り** 製造業では、DI値前月比で15.8ポイント低下、前年同月比でも26.3ポイント低下。非製造業で15.8ポイント低下、前年同月比でも10.5ポイント低下。

**雇用人員** 製造業では、DI値前月比で10.5ポイント低下、前年同月比では10.6ポイント上昇。非製造業では、前月比で5.3ポイント低下、前年同月比でも5.2ポイント低下。

**景況** 製造業では、DI値前月比で31.5ポイント低下、前年同月比でも47.4ポイント低下。非製造業では、前月比、前年同月比ともに26.3ポイント低下。

**県内中小企業の景況は**、全業種景況DI値は、前月比で28.9ポイント低下、前年同月比でも36.8ポイント低下となった。製造業では、一般食料品、繊維・同製品関連で受注単価が上がらないなか、最低賃金引上げによる人件費上昇により収益状況の悪化がみられた。非製造業では、小売業・商店街、サービス業で消費税増税後の反動減がみられたほか、旅館・観光関連では台風による自然災害の多発により売上の安定化が図れていない状況となっている。また人手不足も払しょくされず厳しい状況は続いている。県内の景況は、厳しさを増しており、今後の見通しも不透明。

## 2. 企業倒産 (株帝国データバンク調べ)

10月の全国倒産は、件数785件と、2カ月連続で前年同月を上回り今年最多、負債総額910億7,900万円(負債総額1,000万円以上)と、負債50億円以上の倒産が発生せず、10月としては比較可能な2000年以降で最小を記録した。負債規模別では、負債5,000万円未満の倒産は512件、構成比は65.2%を占めた。

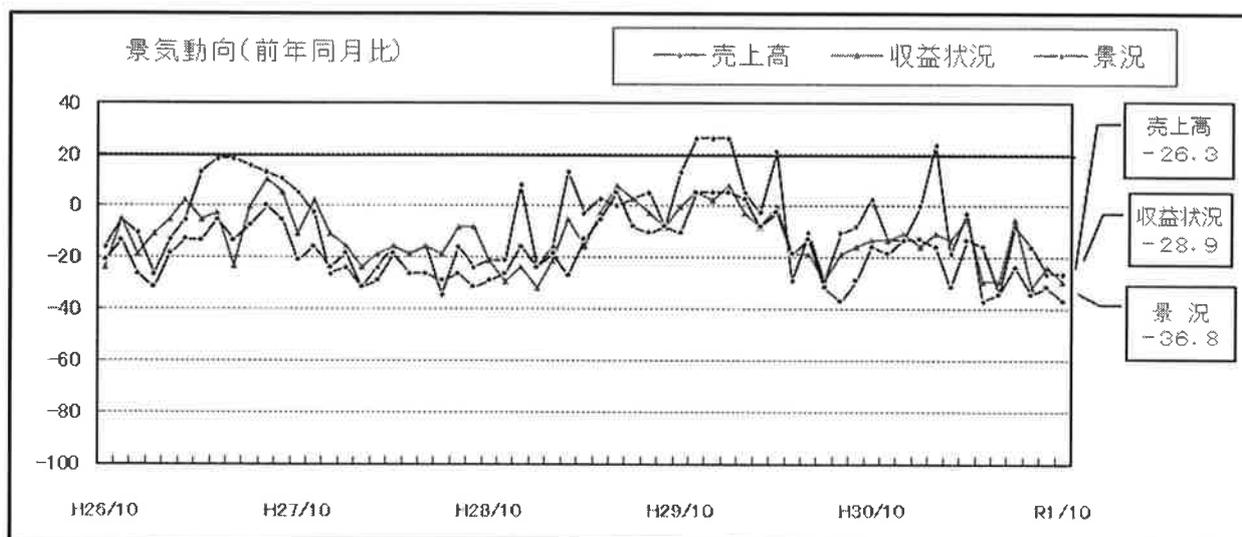
一方、10月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数1件(前月1件)、負債総額は5億円(前月2,000万円)となった。

## 3. 労働情勢 (鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報9月分」)

鳥取県の9月の有効求人倍率(パートを含む速報値)は1.67倍(季節調整値)(全国有効求人倍率は1.57倍)で、前月を0.05ポイント下回った。各所別有効求人倍率では、鳥取所1.48倍、米子所1.96倍、倉吉所1.88倍となった。新規求人倍率(パートを含む速報値)は2.45倍(季節調整値)で、前月を0.09ポイント下回った。

新規求人数は、前年同月比3.8%増加し、有効求人数は4.5%の増加となった。産業別に前年同月と比較すると、建設業(36.1%)、運輸業・郵便業(14.0%)、卸売業・小売業(6.8%)、医療・福祉(5.4%)、公務・その他(112.5%)、等で増加した。

新規求職者数は、前年同月比5.1%増加し、有効求職者数は2.3%増加した。パートタイムの有効求人倍率(原数値)は1.79倍で、前年同月を0.08ポイント下回った。新規求人数は2.1%減少した。



# 10月の中小企業景況

前月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	15.8%	26.3%	-10.5 -26.2	21.1%	36.8%	-15.7 -10.4	18.4%	31.6%	-13.2 -18.5
(2)在庫数量	0.0%	21.1%	-21.1 -5.3	8.3%	8.3%	0.0 0.0	3.2%	16.1%	-12.9 -3.2
(3)販売価格	0.0%	10.5%	-10.5 -15.8	10.5%	15.8%	-5.3 0.0	5.3%	13.2%	-7.9 -7.9
(4)取引条件	0.0%	10.5%	-10.5 -5.2	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	5.3%	-5.3 -2.7
(5)収益状況	5.3%	31.6%	-26.3 -5.3	15.8%	26.3%	-10.5 0.1	10.5%	28.9%	-18.4 -2.6
(6)資金繰り	5.3%	21.1%	-15.8 0.0	0.0%	15.8%	-15.8 5.3	2.6%	18.4%	-15.8 -2.6
(7)設備操業度	10.5%	26.3%	-15.8 -15.8						
(8)雇用人員	5.3%	15.8%	-10.5 -10.5	0.0%	5.3%	-5.3 -0.1	2.6%	10.5%	-7.9 -5.3
(9)景況	5.3%	36.8%	-31.5 -10.4	10.5%	36.8%	-26.3 16.1	7.9%	36.8%	-28.9 2.6

前年同月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	15.8%	52.6%	-36.8 -5.2	26.3%	42.1%	-15.8 5.2	21.1%	47.4%	-26.3 0.0
(2)在庫数量	0.0%	26.3%	-26.3 -5.3	0.0%	16.7%	-16.7 -8.3	0.0%	22.6%	-22.6 -6.5
(3)販売価格	5.3%	15.8%	-10.5 -15.7	15.8%	21.1%	-5.3 5.2	10.5%	18.4%	-7.9 -5.3
(4)取引条件	0.0%	10.5%	-10.5 -5.2	0.0%	0.0%	0.0 5.3	0.0%	5.3%	-5.3 0.0
(5)収益状況	5.3%	47.4%	-42.1 -10.5	21.1%	36.8%	-15.7 0.1	13.2%	42.1%	-28.9 -5.2
(6)資金繰り	0.0%	26.3%	-26.3 0.0	5.3%	15.8%	-10.5 -15.7	2.6%	21.1%	-18.5 -8.0
(7)設備操業度	21.1%	36.8%	-15.7 -5.2						
(8)雇用人員	21.1%	10.5%	10.6 5.3	5.3%	10.5%	-5.2 5.3	13.2%	10.5%	2.7 0.0
(9)景況	0.0%	47.4%	-47.4 -15.8	10.5%	36.8%	-26.3 5.2	5.3%	42.1%	-36.8 -5.2

\*D Iとは、ディフュージョン・インデックスの略。D I欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

\*D I欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

#### 4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

##### 製造業

###### 【食料品】

一般食料品⇒ 消費税増税後の消費マインドの冷え込みにより売上げは減少傾向。最低賃金引上げによる人件費上昇により収益の悪化がみられる。

醤油⇒ 味噌、醤油は、売上高は前月比で不変、前年同月比で増加となった。

###### 【繊維・同製品】

婦人服⇒ 熟練した外国人技能実習生の帰国の影響もあり、受注品の生産が減少。受注単価が上がらない中であって、最低賃金引上げによる人件費上昇により収益状況は厳しい。例年に比べて大手アパレルメーカー、高級品の洋服の売上が悪く、生産に大きく影響し受注確保が困難となっている。

ニット製品⇒ 今年に入って、縫製業の倒産、廃業が各地で発生しており、国内縫製業の縮小が一段と進んでいる。繊維製品の供給市場規模は維持しているものの、インターネット市場など最終売場が大きく変動し、輸入品依存度は高止まりしており、事業継続が厳しい状況が続いている

###### 【家具装備品】

⇒ 消費税増税前の駆け込み需要はあったが、反動減が不安。今年に入り市況は、買い控え空気があり低調。中小企業には苦しい時代。

###### 【木材・木製品】

製材品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の出荷量はともに前月比で増加。合板の生産量も前月比で増加。新設住宅着工戸数は9月で持家系、貸家系ともに大きく伸びたが、その後の着工数は落ち着いてきており、今後の製材品需要の掘り起こしが課題。プレカット加工の稼働率は、前月比20%増加、前年同月比25%減少となった。

###### 【紙・加工品】

和紙⇒ 秋需要が意外と弱く、売上高は前月比、前年同月比ともに減少。資金繰りもやや悪化傾向。今後に期待している。取引のロットが小さくなり、生産性が悪くそのため収益も悪化傾向。

###### 【印刷】

⇒ 消費税増税後の反動減が多少あり。販促費や広告宣伝費は予め予算化される場合が多いため、増税分が削られることがある。年末需要に期待して、営業活動を活発化している。山陰地方は官公需の割合が多く、年度末に集中する受注が来年度はかなり平たん化されると期待され、「働き方改革」の恩恵がある。用紙の他に、インク・段ボールなどの資材の値上げもある。価格へ転嫁しないと収益・資金繰りに影響が出る。

###### 【窯業・土石製品】

生コン⇒ 10月の生コン出荷量は、前年同月比で110%。3地区ともに前

月比、前年同月比プラスを示した。地区別の出荷状況は、東部地区は109%、中部地区は102%、西部地区は114%。

#### 【金属製品】

**金属加工**⇒ 建築関係は、物件は少なく需給、価格ともに弱含みだが、得意先によってはさほど危機感は見られない。来春に向けて、見積り、引き合いがあり今後の需要に期待。機械加工は、厳しいなかでも、自動機・金型関係は、現状、年内の仕事は確保出来ている。

**鉄骨加工**⇒ 高力ボルト不足については納期4カ月～7カ月程度と少しずつではあるが改善している。各事業所とも年度内の仕事は確保しており来年度に向けての受注活動に入っている。小型物件については年度内の建方案件もまだあり対応が出来る事業所が少なくなっている。

#### 【一般機械器具】

⇒ 受注状況は先月比で不変、前年同月比で大幅に減少した。自動車関係が振るわなくなりつつあるなか、特殊な部品の量産化に成功している企業は受注を拡大しており利益率も高い。今後の見通しもエネルギー関係が低迷しており、素材関係が在庫調整も含めて急激な減産となっている。人手不足に関しては今後、改善の兆しがある。

#### 【電気機械器具】

⇒ 設備投資は落ち着いている。最賃がかなり上がっているため原価を押し上げている。人員の確保は依然厳しい。外国人技能実習生受入に係る許可に時間がかかりすぎている。

## 非製造業

#### 【卸売業】

**東部地区**⇒ 青果関係では、売上高は前月比で減少、前年同月比でも減少。台風や強雨の影響が顕著に出ており厳しい状況。鮮魚関係では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少。11月松葉ガニの解禁を迎えるため、活況となることに期待。

**中部地区**⇒ Windows7サポート終了に伴う買替えなど、先月からの受注残があり、今年は例年以上の売上高を確保していたが、10月に入ってからの上売が非常に悪い。

**西部地区**⇒ FCチェーン店や大型店の出店により、取引先への影響が深刻となっている。また直売の流れが進むなか、卸売業が淘汰されつつある。

**水産物**⇒ 総水揚げ数量は昨年並みであったものの鮮魚向けとなるアジ・サバ・イワシ類が少なく依然低調で推移した。近海物はタラ、エビ、カレイ類等例年並みの水揚げが見られた。ベニズワイガニ漁は昨年よりも1割程度水揚げが増加し、これまでの浜値高疲れもあり落ち着いた相場となったが、月末から年末需要期に向かい予断を許さない状況。

**リサイクル原料**⇒ 国内鉄スクラップ市況は、月前半に1トン当たり1,000円の値上

げがあつてからは目立った値動きは見られず、概ね様子見の状態。古紙については、段ボールが国内において余剰感が強まった。非鉄市況は、前月に続き、銅、アルミが特に安い状態で続いている。

### 【小売業・商店街】

**東部地区**⇒ 鳥取市の商店街では、市役所本庁舎移転に伴い、通行量が減少し来街者数も減少傾向。小売業では消費税増税後の反動減がみられ、反動減がこのまま続けば大変厳しい状況となる。宿泊関連は観光客も多く好調を維持。キャッシュレス対応については、現金仕入れをしている事業者にとってはキャッシュフローも悪く苦慮している。キャッシュレスの効果も限定的だと感じる。

**中部地区**⇒ 倉吉市の商店街では、4年前の火災、3年前の鳥取県中部地震から復興を誓う福高祭、「FESTA DEL GINZA」を実施したばかりであったが、商店街の一角の飲食店街で火災が発生した。今年の福高祭は、昨年、真備の大水害から復興を進めている倉敷市の商店街と商店街提携を行った。問題点、課題をお互いに議論をしながら交流をしていく。「打吹回廊」の駐車場問題が解決し、これからに期待している。

**西部地区**⇒ 米子市の商店街では、10月26日に、ほんどおり商店街アーケード内において、通算51回目となる「戸板市」が開催され多くの来街者で賑わった。また米子高島屋が地元のジョイアーバンに譲渡され、新たな経営戦略が展開される予定もあり、中心市街地活性化に向けて大きな期待が寄せられている。

境港市の水産物小売は、9月1日の日本海ベニズワイガニ漁の解禁から1ヶ月が過ぎ、「境港水産まつり」が10月13日に開催された。例年、7～8月の閑散期を乗り越えると、9月後半から徐々に来場者が増加傾向になり、水産まつりを機に本格的な観光シーズンに突入すると同時に消費者の購買意欲も高まる。本年は境港の高度衛生管理型市場の始動も相まって、更に来場者が増加している。これから松葉ガニ漁が解禁となり、境港は大いに活気づくものと期待している。

### 【旅館・観光】

⇒ 鳥取市では、10月は台風19号の影響を大きく受けた。三連休の初日12日は台風の影響で鳥取砂丘、砂の美術館ともに観光客の姿はなかったが、13日には例年並みに観光客が増加した。即位礼正殿の儀までの連休は、観光客が増加した。売上高は前月比で不変、前年同月比では台風の影響で売上が伸びず微増となった。

米子市のホテル・旅館では、秋の行楽シーズンに入り、宿泊客が増加したため前月比で売上高は増加し、収益状況も好転した。前年同月比では週末にかけての台風発生により宿泊客を中心にキャンセルが多発したことから、売上高は減少し、収益状況も悪化した。業界全体では、台風を含め自然災害多発の影響があり売上高の安定化が図れない。

三朝温泉は、売上高は、前月比、前年同月比ともに減少。冬期のカニ

商品の販売状況が芳しくない。

観光地の大山では、売上高は、前月比、前年同月比ともに減少。全体的に景況は悪化している。

#### 【自動車整備業】

⇒ 乗用車の新車販売実績は、消費税増税後の反動減の影響があり、普通自動車で前月比48%減少、前年同月比27%減少。軽自動車は前月比45%減少、前年同月比28%減少。貨物自動車は、前月比35%減少、前年同月比28%減少、軽貨物自動車は前月比48%減少、前年同月比40%減少。軽自動車の県内保有台数割合は53%と高く、普通車に比べ整備単価が低いため売上高は減少傾向。

#### 【建設業】

⇒ 10月の県内公共工事実績は、前年同月比で件数・請負金額とも大幅に増加し、年度累計においても前年同期比で件数・金額ともに増加となり、好調な推移を維持している。また設備投資、住宅投資とも全体として堅調な実績となっている。消費税増税による景気の下振れリスク懸念や、技術職・下請けにおける人手不足感、資材価格の値上がり等により、足元の景気判断には足踏み感があるが、先行きの公共投資や設備投資には好調推移を見込んでいる。

前払金保証取扱から見た県下公共工事の動向（10月）は、件数233件（前年同月比13%増）、請負金額121億円（同83%増）となった。請負金額地区別状況（10月末累計）は、東部地区（前年対比28%増）、八頭地区（同16%増）、中部地区（同110%増）、西部地区（同46%増）、日野地区（35%増）となった。

9月の鳥取県新設住宅着工戸数は344戸（持家230戸、貸家114戸）で、前月比113%増加、前年同月比でも42%増加となった。

#### 【運輸業】

**東部地区**⇒ 製造業などで生産調整もあり出荷量の減少がみられた。農産物の出荷量も少なく低調に推移。復路荷物は物量が増加傾向にあり車両が不足し手配要請が多くあった。売上高は、前月比、前年同月比ともに不変。燃料価格は横ばいで推移しているが収益状況は厳しい。

**西部地区**⇒ 消費税増税後の反動減からの在庫調整の影響と台風19号の影響で関東以東の出荷台数が減少、前年対比10%の出荷台数減となった。県内の物流は好天の影響で農作物は好調、特に西条柿、輝太郎柿、新興梨、王秋梨の出荷は前年を大きく上回るほど順調に推移。原油価格はアジア指標となるドバイ原油は5月の高値から2割値下がりしたが、高値横ばい圏が続く。運賃は荷主の理解もあり25%ほど上昇。相変わらずの人手不足で景況は芳しくない。

### 5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・複合施設「打吹回廊」の運営が軌道に乗るよう支援頂きたい。（商店街）

## 最近の指標の前月比D I の推移

		2018年			2019年										前年との増減幅
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
売上高	製造業	10.6	-5.3	26.3	-36.8	26.3	15.8	0.0	-26.3	5.3	0.0	-26.3	15.7	-10.5	-21.1
	非製造業	10.5	15.8	5.2	-42.1	5.2	26.3	10.5	0.0	-36.8	15.7	5.2	-5.3	-15.7	-26.2
	全業種	10.5	5.2	15.8	-39.4	15.8	21.0	5.2	-13.1	-15.8	7.9	-10.5	5.3	-13.2	-23.7
在庫数量	製造業	10.5	0.0	-10.5	-10.5	-15.8	0.0	-10.5	-15.8	-15.8	-10.5	0.0	-15.8	-21.1	-31.6
	非製造業	8.4	-8.3	8.3	-16.7	-8.4	0.0	0.0	-16.7	8.4	-8.3	-8.4	0.0	0.0	-8.4
	全業種	9.7	-3.2	-3.2	-12.9	-12.9	0.0	-6.5	-16.2	-6.4	-9.6	-3.2	-9.7	-12.9	-22.6
販売価格	製造業	0.0	10.5	10.5	10.5	5.3	0.0	5.3	0.0	-5.3	5.3	0.0	5.3	-10.5	-10.5
	非製造業	5.3	0.0	21.2	-26.3	-15.8	-10.6	-5.3	10.5	-15.8	10.5	10.6	-5.3	-5.3	-10.6
	全業種	2.6	5.2	15.8	-7.9	-5.2	-5.2	7.9	5.3	-10.5	7.9	5.3	0.0	-7.9	-10.5
取引条件	製造業	0.0	0.0	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5
	非製造業	0.0	-5.2	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0
	全業種	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	-5.3	-5.3	-2.6	-2.6	-2.6	2.6	0.0	-2.6	-5.3	-5.3
収益状況	製造業	0.0	-5.2	0.0	-26.3	-5.2	0.0	-15.8	-10.5	-15.8	-31.5	-31.6	-21.0	-26.3	-26.3
	非製造業	10.6	5.3	5.3	-31.5	0.0	15.8	5.3	0.0	-26.3	5.3	-5.2	-10.6	-10.5	-21.1
	全業種	5.3	0.0	2.7	-29.0	-2.6	7.9	-5.3	-5.3	-21.1	-13.2	-18.4	-15.8	-18.4	-23.7
資金繰り	製造業	5.3	5.3	5.3	-10.5	0.0	5.2	-10.5	-10.5	-26.3	-10.5	-26.3	-15.8	-15.8	-21.1
	非製造業	-10.5	-10.5	0.0	-15.8	-10.5	0.0	10.5	0.0	-21.1	0.0	0.0	-10.5	-15.8	-5.3
	全業種	-2.6	-2.6	2.6	-13.2	-5.3	2.6	0.0	-5.3	-23.7	-5.2	-13.1	-13.2	-15.8	-13.2
設備操業度	製造業	15.8	10.5	15.8	-21.0	10.5	15.8	5.3	-10.5	5.3	-15.8	-21.1	0.0	-15.8	-31.6
雇用人員	製造業	0.0	10.5	5.3	-5.3	0.0	10.5	10.5	-5.2	5.2	0.0	5.2	0.0	-10.5	-10.5
	非製造業	10.5	5.2	0.0	-31.6	-5.3	-5.2	10.5	5.2	-5.2	0.0	15.8	-5.2	-5.3	-15.8
	全業種	5.3	7.9	2.6	-18.4	-2.6	2.6	10.6	0.0	0.0	0.0	10.6	-2.6	-7.9	-13.2
景況	製造業	5.3	0.0	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-15.8	-36.8	-31.6	-21.1	-31.5	-36.8
	非製造業	-5.3	0.0	-21.0	-21.0	-26.3	-15.8	-5.3	-21.0	-47.4	-26.3	-26.3	-42.1	-26.3	-21.0
	全業種	0.0	0.0	-10.5	-21.1	-18.4	-13.2	-7.9	-15.8	-31.6	-31.6	-28.9	-31.5	-28.9	-28.9

## 最近の指標の前年同月比D Iの推移

		2018年			2019年										前年との増減幅
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
売上高	製造業	-5.2	-10.5	-21.0	-10.5	21.0	-36.9	-5.3	-36.9	-21.0	-26.3	-15.8	-31.6	-36.8	-31.6
	非製造業	10.5	-15.7	5.3	10.5	26.3	0.0	0.0	-36.8	-47.3	10.5	-15.7	-21.0	-15.8	-26.3
	全業種	2.7	-13.1	-13.1	0.0	23.7	-18.4	-2.7	-36.8	-34.2	-7.9	-15.8	-26.3	-26.3	-29.0
在庫数量	製造業	0.0	-5.3	-10.5	-21.1	-15.8	-15.8	-15.8	-26.3	-21.1	-10.5	-10.5	-21.0	-26.3	-26.3
	非製造業	-25.0	-16.7	-8.4	0.0	25.0	-8.4	0.0	-25.0	-8.4	8.4	-25.0	-8.4	-16.7	8.3
	全業種	-9.6	-9.6	-9.6	-12.9	-19.4	-12.9	-9.6	-25.8	-16.2	-3.2	-16.1	-16.1	-22.6	-13.0
販売価格	製造業	5.2	15.8	0.0	10.5	10.6	10.5	5.2	10.5	5.3	10.5	0.0	5.2	-10.5	-15.7
	非製造業	10.5	15.8	5.2	-15.8	5.3	10.6	21.1	15.8	-10.5	10.5	15.8	-10.5	-5.3	-15.8
	全業種	7.9	15.8	2.6	-2.7	7.9	10.5	13.2	13.1	-2.7	10.5	7.9	-2.6	-7.9	-15.8
取引条件	製造業	-5.2	-5.2	-10.5	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-5.3
	非製造業	0.0	-5.3	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	0.0	0.0	-5.3	5.3	5.3	-5.3	0.0	0.0
	全業種	-2.6	-5.3	-7.9	-10.5	-5.3	-7.9	-2.7	0.0	-2.7	5.3	0.0	-5.3	-5.3	-2.7
収益状況	製造業	-10.5	-15.8	-26.3	-26.3	-26.3	-21.1	-15.8	-26.3	-21.0	-21.1	-31.6	-31.6	-42.1	-31.6
	非製造業	-15.8	-10.5	5.2	-5.3	5.3	-5.2	5.3	-31.6	-36.8	10.6	-31.5	-15.8	-15.7	0.1
	全業種	-13.1	-13.1	-10.5	-15.8	-10.6	-13.1	-5.2	-28.9	-28.9	-5.3	-31.6	-23.7	-28.9	-15.8
資金繰り	製造業	-5.2	-5.2	-10.5	-5.3	-15.8	-15.8	-21.1	-21.1	-31.6	-10.5	-26.3	-26.3	-26.3	-21.1
	非製造業	-15.8	-21.1	-5.3	-10.5	-5.2	-15.8	5.2	-5.2	-10.5	5.3	-5.3	5.2	-10.5	5.3
	全業種	-10.5	-13.2	-7.9	-7.9	-10.6	-15.8	-7.9	-13.2	-21.1	-2.7	-15.8	-10.5	-18.5	-8.0
設備操業度	製造業	10.6	15.8	15.8	0.0	10.5	-21.1	21.0	-5.3	5.3	-21.1	-15.8	-10.5	-15.7	-26.3
雇用人員	製造業	0.0	5.2	-5.2	-5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	10.5	5.3	10.6	10.6
	非製造業	5.2	-5.2	0.0	-15.8	-10.5	-15.8	5.2	-10.5	-15.8	-15.8	-10.5	-10.5	-5.2	-10.4
	全業種	2.6	0.0	-2.6	-10.6	-5.3	-7.9	2.7	-5.3	-5.2	-7.9	0.0	-2.7	2.7	0.1
景況	製造業	-15.8	-21.1	-10.6	-10.5	-10.5	-42.1	-21.0	-15.8	-31.6	-26.3	-31.6	-31.6	-47.4	-31.6
	非製造業	-15.8	-15.8	-15.8	-15.8	-21.0	-21.1	-5.3	-15.8	-36.8	-21.0	-16.8	-31.5	-26.3	-10.5
	全業種	-15.7	-18.4	-13.2	-13.1	-15.8	-31.5	-13.2	-15.8	-34.2	-23.7	-34.2	-31.6	-36.8	-21.1

情報連絡員報告総括表(令和元年10月分)

鳥取県中小企業団体中央会  
連絡員総数38名  
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
食料品	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	0	1		
繊維・同製品	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0		
木材・木製品	1	2	1	0	3	1	0	4	0	0	4	0	1	3	0	1	3	0	1	0	4	0	1	2	1		
紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1		
出版・印刷	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	1	0	1	1	0	1	0	0	2		
化学ゴム																											
窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1		
鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	1	0	2	0	2	0	0	2	0	2	0	0	1		
一般機器	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	3	0	0	3		
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0		
輸送用機器																											
その他																											
19	3	11	5	0	15	4	0	17	2	0	17	2	1	12	6	1	14	4	2	12	5	1	15	3	1		
100%	15.8%	57.9%	26.3%	0.0%	78.9%	21.1%	0.0%	89.5%	10.5%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	63.2%	31.6%	5.3%	73.7%	21.1%	10.5%	63.2%	26.3%	5.3%	78.9%	15.8%	5.3%		
卸売業	1	4	1	1	4	1	0	5	1	0	6	0	1	4	1	0	5	1				0	6	0	0		
小売業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0				0	1	0	1		
商店街	0	2	2	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	2	2	0	3	1				0	3	1	0		
サービス業	1	1	3				0	4	1	0	5	0	1	2	2	0	4	1				0	5	0	3		
建設業	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	1		
運輸業	0	1	1				1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0				0	2	0	0		
その他																											
19	4	8	7	1	9	1	2	14	3	0	19	0	3	11	5	0	16	3				0	18	1	2		
100%	21.1%	42.1%	36.8%	8.3%	75.0%	8.3%	10.5%	73.7%	15.8%	0.0%	100.0%	0.0%	15.8%	57.9%	26.3%	0.0%	84.2%	15.8%				0.0%	94.7%	5.3%	10.5%		
38	7	19	12	1	24	5	2	31	5	0	36	2	4	23	11	1	30	7	2	12	5	1	33	4	3		
100%	18.4%	50.0%	31.6%	3.2%	77.4%	16.1%	5.3%	81.6%	13.2%	0.0%	94.7%	5.3%	10.5%	60.5%	28.9%	2.6%	78.9%	18.4%	10.5%	63.2%	26.3%	2.6%	86.8%	10.5%	7.9%		

情報連絡員報告総括表(令和元年10月分)

鳥取県中小企業団体中央会  
連絡員総数38名  
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
食料品	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	1	1
繊維・同製品	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	1	2	0	2	1	1	1	2	0	0	0	0	1	2	
木材・木製品	0	0	4	0	2	2	1	2	1	0	4	0	2	2	2	0	4	0	1	2	0	3	1	0	0	3	1	
紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	
出版・印刷	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	1	0	1	0	1	0	1	0	0	2	
化学ゴム																												
窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	
鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	
一般機器	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	3	0	0	0	2	1	1	2	0	2	0	0	0	2	1	
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	
輸送用機器																												
その他																												
19	3	6	10	0	14	5	1	15	3	0	17	2	1	9	9	0	14	5	4	8	7	4	13	2	0	10	9	
100%	15.8%	31.6%	52.6%	0.0%	73.7%	26.3%	5.3%	78.9%	15.8%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	47.4%	47.4%	0.0%	73.7%	26.3%	21.1%	42.1%	36.8%	21.1%	68.4%	10.5%	0.0%	52.6%	47.4%	
非	1	3	2	0	4	2	1	3	2	0	6	0	1	3	2	0	5	1				0	6	0	0	4	2	
小売業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0				0	1	0	1	0	0	
商店街	0	2	2	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	3	1	0	3	1				0	3	1	0	2	2	
サービス業	1	0	4				0	4	1	0	5	0	1	1	3	1	3	1				0	5	0	1	1	3	
建設業	1	0	0				1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0				1	0	0	0	1	0	
運輸業	1	1	0				1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0				0	1	1	0	2	0	
その他																												
19	5	6	8	0	9	2	3	12	4	0	19	0	4	8	7	1	15	3				1	16	2	2	10	7	
100%	26.3%	31.6%	42.1%	0.0%	75.0%	16.7%	15.8%	63.2%	21.1%	0.0%	100.0%	0.0%	21.1%	42.1%	36.8%	5.3%	78.9%	15.8%				5.3%	84.2%	10.5%	10.5%	52.6%	36.8%	
38	8	12	18	0	23	7	4	27	7	0	36	2	5	17	16	1	29	8				5	29	4	2	20	16	
100%	21.1%	31.6%	47.4%	0.0%	74.2%	22.6%	10.5%	71.1%	18.4%	0.0%	94.7%	5.3%	13.2%	44.7%	42.1%	2.6%	76.3%	21.1%	21.1%	42.1%	36.8%	13.2%	76.3%	10.5%	5.3%	52.6%	42.1%	